令和８年度第３回南外地域協議会会議録

令和８年９月２５日

南外地域協議会

令和８年度第３回南外地域協議会会議録目次

■開催日時・・・　１
■開催場所・・・　１
■出席委員・・・　１
■欠席委員・・・　１
■出席職員・・・　１
■次第・・・　１
■開会・・・　２
■会長あいさつ・・・　２
■議題・・・　２
　　１）地域振興事業に関する報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２～１０
　　２）彩色千輪プロジェクト事業に関する報告について
　　３）令和９年度南外支所地域活性化推進室事業について
■その他・・　１０～１１
■閉会・・・　１２
■署名・・・　１２

令和８年度　第３回南外地域協議会　会議録

■日　　時：令和８年９月２５日（金）　１８時００分

■会　　場：南外コミュニティセンター

■出席委員：　　１１名

伊　藤　賢　良、　伊　藤　真紀子、　加賀屋　由　香、　小　松　美　岐、
今　野　龍　悦、　佐々木　　明　、　佐々木　明　子、　佐　渡　敏　夫、
佐　藤　　武　、　進　藤　　覚　、　田　口　美　生

■欠席委員：　　３名

市　村　あゆみ、　鈴　木　均　美、　髙　寺　　衛

■出席職員：　６名

〇南外支所職員

佐々木　満智子（支所長）　　小　松　　亮　（市民サービス課長）
高　橋　　勉　（農林建設課長）　　堀　井　みわ子（公民館長）
佐々木　香奈子（地域活性化推進室主幹）
菊　地　明　憲（地域活性化推進室副主幹）

■次　　第：

１　開　会
２　会長あいさつ
３　議題
　　１）地域振興事業に関する報告について
　　２）彩色千輪プロジェクト事業に関する報告について
　　３）令和９年度南外支所地域活性化推進室事業について
４　その他
５　閉会
６　署名

（１８時００分　開会）

〇菊地地域活性化推進室副主幹（以下「地域活性化推進室副主幹」と表記）

皆様、本日は忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ただいまから「令和８年度第３回南外地域協議会」を開会いたします。

開会にあたり、佐渡会長からご挨拶を頂戴いたします。

〇佐渡敏夫会長（以下「会長」と表記）

改めまして皆さんこんばんは。第３回の南外地域協議会のご案内の通知を差し上げましたところ、お忙しい中、皆様ご参加いただきましてありがとうございます。

これから秋に向かいろいろな行事が目白押しになります。いろいろな行事に参加していただきまして、地域を盛り上げていただけたらと思います。今日の議題の３番目に令和９年度の地域活性化推進室事業についてという議題があります。こちらの議題については後から説明がありますが、前回の協議会の中で皆さんで話し合った内容を参考に事業を作り上げていきたいというような話し合いでありますので、皆さんいろんな意見を出し合っていい協議会にしていければと思っております。今日もよろしくお願いいたします。

〇地域活性化推進室副主幹

ありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。本日の出席員数は１１名で、委員数の２分の１に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。本日の議題はその他を含めまして４件であります。また会議録作成のため録音させていただきますことをあらかじめお断り申し上げます。なおご発言の際は、挙手の上会長の指名を受けてからお願いいたします。それでは議事の進行は佐渡会長にお願いいたします。

〇会長

はい。それでは協議会を始めたいと思います。この議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名いたします。本日は伊藤賢良委員と佐々木明委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それでは議事を進めてまいりたいと思います。議題１地域振興事業に関する報告について事務局より説明をお願いいたします。

〇地域活性化推進室副主幹

それでは議題１地域振興事業に関する報告ついて、現在進行中の事業を抜粋して説明させていただきます。

はじめに、第１２回南外地域運動会補助事業について説明いたします。予算額は３００，０００円です。開催日は、令和８年１０月３日土曜日になります。雨天の場合は、小学校の運動会となります。収支予算案ですが、収入部、地域振興事業費３００，０００円。繰越金１，９８０円となります。支出の部、消耗品費２００，０００円、印刷製本費１００，０００円、切手代１，９８０となります。

続きまして、ふるさと南外の会応援事業についてです。予算額は、２００，０００円になります。

総会開催日は、令和８年１１月２８日土曜日、アルカディア市ヶ谷になります。

次に収支予算案ですが、収入の部、地域づくり事業補助金として、２００，０００円。当会負担金で、６４，０００円になります。支出の部、旅費が１５０，０００円、消耗品費３，０００円手数料１，０００円、通信運搬費１０，０００円、委託料９０，０００円、借上料１０，０００円になります。以上です。

〇会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見がございましたら挙手の上発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。ございませんか。

〇進藤覚委員

運動会ですが、だいぶ規模も縮小されたようですが、借物競走、障害物競走など、地域の皆さんの参加はどれくらいになりますか。

もう一つが、運動会推進員の是非というのか、以前までは、割り振りなどがあり推進員が決定するということがあったが、現在はその役割もなくなり、推進員が行うことがなくなっていると思いますが、今後、どのようにやっていくのか教えてください。

〇会長

はい。それでは、堀井公民館長よりお願いいたします。

〇堀井公民館長（以下「公民館長」と表記）

はい。今年は一般の部が３種目あります。障害物競走と借物競走への参加者が１名でありました。そのため、今年度も中学生にこの２種目をお願いし、ボールリレーについては、老人クラブ連合会へ声をかけ、４６名の参加がありました。

〇会長

私の方からも、以前までは、推進員が種目の説明をして、参加者を集める仕事が大きかった。そのやり方が、若者たちが非常に嫌がるようになり、参加者を募ってもなかなかいない。ということで、どのようにしていけばよいのか、アンケートを実施しました。

参加する住民も参加したくない、推進員も参加したくない、テント張りもやりたくないということで、各集落のテントも古くなって使えなくなってきたということで、スポーツ協会で購入し、実行委員会の方でテントを張りましたが、そこに入ってくる人も年々減ってきています。今後どのようにしていくか、今年度の運動会後に話し合う場を設けたいと考えております。

しかし、実行委員会の中では、運動会を継続していきたいという話も出ていますが、実際に各集落に働きかける人と会議に出ている人が別ということもあって、なかなか噛み合わな

い部分も出てきています。できれば、そのまま継続して欲しい気持ちは山々ですが、このような回答でよろしいでしょうか。

〇進藤覚委員

私自身、推進員ですが、実際のところ何をしてよいのか分からないでいました。回答については分かりました。

〇会長

また、何かありましたら、意見を出してもらえばと思います。他に、ございませんか。

【質疑応答なし】

〇会長

ないようですので、続きまして、議題２「彩色千輪プロジェクト事業に関する報告について」事務局より報告をお願いします。

〇地域活性化推進室副主幹

それでは議題２「彩色千輪プロジェクト事業に関する報告」ついて、説明させていただきます。

資料２の南外地域彩色千輪プロジェクトに関する報告をご覧ください。

はじめに、南外中学校と合同で取り組んでいる「地域とつながる！プロジェクト」についてですが、１年生が取り組んでいる「昔ばなしビブリオバトル」については、今日、学校から完成した資料が届いております。

こちらの「紹介シート」と「イラストシート」を組み合わせてデータ化し、モニターに投影しながらプレゼンするというような流れを考えています。開催時期は未定ですが、年内には開催できるように日程調整したいと考えています。

続いて、２年生が取り組んでいる「オリジナルバッジ作成事業」です。こちらは、今日の午前中に３回目の授業を実施し、完成しましたのでご覧いただきたいと思います。

このバッジは、２年生１０人がひとり１作品ずつデザインしたもので、２つデザインした生徒も２人いましたので、全部で１２作品となっています。

限られた時間の中でということもあり、完全オリジナルということはできませんでしたが、文字やイラストのひとつは手書きのデザインを取り入れるということをルールに、南ちゃんを上手に取り入れた個性あふれる１２種類のオリジナルバッジが完成しました。

募金のお礼や、イベントの景品など、活用方法も、生徒自身でテーマ設定し取り組んだものです。生徒自身が考えた活用方法を参考にしながら、地域内のイベントなどで活用していきたいと考えています。

続いて、３年生が取り組んでいる「イベント企画・運営体験事業」ですが、前回の協議会の際に、１１月１４日とお伝えしましたが、ほかのイベントの兼ね合いもあり２１日に変更

しました。９月２９日に３回目の授業を実施予定です。
続いて、「南外中学校 in きょてんまつり（仮)」開催についてですが、このイベントの企画を３年生が考えています。
開催日は、１１月２１日の土曜日で、会場は南外民俗資料交流館を予定しています。
今回のイベントは、生徒自身が「来場者の２５％を２５歳以下」にするという目標を立てて、若い世代をターゲットにしたイベントを企画中となっておりますが、資料に誤りがありまして、目標値が２５％ではなく、正しくは４０％となっております。来場者が２００人だとすると、「８０人以上が２５歳以下」というような目標設定になっています。
なかなか高い目標ですが、若い人たちからどうすれば参加してもらえるのかを考えながらイベントの準備を進めています。
今、準備を進めているイベントは次のようなものがあります。
ひとつ目が「森の小さなレストラン」をコンセプトにしたカフェ出店です。韓国料理の軽食や、オリジナルスイーツを販売予定です。オリジナルスイーツは、昨年度まで南外地域協議会の委員をされていた伊藤悠さんが店主をされているクレープ店「CREPI-CE」とのコラボクレープを販売予定です。伊藤さんからも協力について、了承をいただいています。
続いて、「オリジナルグミ」づくり体験です。こちらは、今若者のあいだで、カラフルなグミが流行っているということで、SNS 映えするようなオリジナルグミづくりが体験できるワークショップを実施予定です。
続いて、「出張ラジオ局」です。こちらは、事業の講師としても協力いただいている FM はなびさんから、ノウハウをお借りして、イベント当日に生徒によるラジオの生配信を予定しています。事前告知として、イベント前にも生徒が出演し、宣伝することも検討中です。
次が「南外タワー（仮)」です。５月に全校生徒で行った地域活性化について考えるオリエンテーションで、そこで出されたアイデアの中に、「南外タワー」を建てるというものがありました。
実際に建造物を建てるというのは、時間や予算的にも難しいということで、ドローンで代用し、展望台の頂上から南外をみたらどんなふうに見えるのかということをテーマにして、ドローンによる空撮を実施予定です。
この他にも、ステージイベントやフリーマーケットなどの開催も予定しています。
彩色千輪プロジェクトについての説明は以上です。

〇会長

はい。ありがとうございました。ただ今の報告について、質問やご意見のある方は、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

【質疑応答なし】

はい、質問等がないようですので、なかなか中身の濃い事業のようですので、当日１１月２１日を楽しみにしたいと思います。それでは、議題の２番については終了いたします。

続きまして、議題の３「令和９年度南外支所地域活性化推進室事業について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

〇地域活性化推進室副主幹

それでは、議題３令和９年度南外支所地域活性化推進室事業について、説明させていただきます。

資料３の令和９年度南外支所地域活性化推進室事業計画をご覧ください。

今年度いっぱいで「彩色千輪プロジェクト事業」は終了となり、今後の地域活性化に関する事業の方向性については、まだ示されておりませんが、南外地域では、これまで同事業で実施してきた地域の方向性などは、継承しながら事業を実施していきたいというように考えています。

こちらは、現時点での計画となっておりますが、前回皆さんから協力いただいて実施したワークショップで出されたアイデアも取り入れさせていただいています。それでは、上から順に説明させていただきます。

地域活性化の方向性「自立してコンパクトな南外」では、はじめに、拠点 PR イベントの実施です。

こちらは、拠点イベントの継続実施というようになっておりますが、前回、今野委員から出していただいた本の交換会などの実施も検討していきたいというように考えています。

つづいて、子どもからお年寄りまで元気で安心な南外では、はじめに地域おこし協力隊活動関連事業ですが、来年度で現在の協力隊員が３年目となり任期最終年度となります。その為、来年度もう１名協力隊員を増員し、令和９年度は２名体制での活動を検討しています。

活動内容については、南外さいかい市の持続化に向けたサポート継続のほか、農業体験ツアーの開催など、移住者や交流人口の創出などにつながる活動の実施も検討しています。

つづいて、管内保育・教育機関との連携については、地域とつながるプロジェクトとして、南外さいかい市クッキーの新メニュー開発や、FM はらびとのコラボ事業の第２弾として、堀井徳五郎翁・昔ばなし朗読会などの開催を予定しています。

もうひとつが、夢のバトン～なんがいネクストアスリートという事業名になっていますが、こちらは南外出身のオリンピアン、伊藤友広さんと佐々木悟さんを講師に迎えた、アスリートの養成講座を開催出来ないか検討しています。

まだ、ご本人には直接、相談出来ておりませんが、友広さんからは令和６年度に大仙市２０周年記念事業として、南外地域では、友広さんの特別講演会と、地域運動会時のかけっこ教室を実施しています。

その際に、ご本人からも地元でまた、活動してみたいというようなお話もありましたので、前向きにご検討いただけるのではないかと考えています。

続いて、地域の居場所づくり事業として実施しているサロン事業については、継続実施を予定しています。事業は継続を予定していますが、サロンの参加者が減少傾向ということもありまして、内容については、さいかい市、社協と協議しながら調整していきたいと考えています。

続いて、自然豊かで人が集まる南外・神岡となっています。こちらの、南外・神岡というところですが、これまで各地域の地域活性化推進室が主体となって、地域ごとに地域活性化に関する事業を実施してきましたが、各地域を合わせますと、かなりのイベント事業をもっていることになり、そこで地域を跨いで、例えば同じような事業があれば一緒にしてできないかという話し合いも出ております。まだ決まったわけではありませんが、検討しているところです。

１つ目の事業として、「神岡・南外巡醸」という名前になっていますが、こちらはお酒をテーマにした観光ツアーというような中身になっていますが、利き酒などのツアーができないかと考えてみました。観光ツアーは、１０年ほど前にも、モニターツアーで、市の観光部署が主体となって実施したことがありました。その際は、大曲の花火工場を見学して、南外の民俗資料交流館で蕎麦打ち体験し、自分で打った蕎麦を食べ、お酒を飲み、最後にさなぶり酒花火を観て帰っていただくような企画だったと思います。

今回もイメージとしては、現時点ではそのような形を考えておりますが、南外を楽しみながら、南外を知っていただく、併せて隣の神岡なども知っていただく観光ツアーを実施できないか考えております。実は昨日、観光物産協会へ相談に行ってきました。観光ツアーは、旅行業務取扱者という資格がないと取扱いができないということがあり、観光物産協会の方でその資格を持っている方がいるため、相談にいってきました。事業としては、物産協会に委託して行う形になるかと思います。その時に、南外神岡に地域協議会の委員の皆さんもいるので、その方たちの意見も取り入れてツアーを計画していただきたいと考えていることも相談してきています。

例えば、その委託の中で、仮に宿泊などモニターツアーにした場合、旅行代金はいただきます。委託料の中身に関しては、旅のしおりやガイドブックのようなものをライターに頼んで作ってもらい、それを見ながら南外と神岡の観光地を巡るというのはどうでしょうかというお話をいただきました。実施時期については、未定です。また。神岡地域やさらに広めて西部地域にしていくか。または、最初は南外だけでやってみる、などそのようなことも含めて皆さまからご意見をいただければと思います。

ふたつ目は、「なんかみ CONNECT」ですが、南外神岡地域を会場に、職や体験型ワークショップなどで会いや交流を楽しめるイベントの開催です。こちらは、南外で「街コン」や「マッチング」のイベントを開催するというイメージになりますが、マッチングありきではなく、リラックスしながら、お酒を飲んだり、コーヒーを飲んだり、回ごとにテーマを決めて、そのテーマが好きな人が集まり、同じ価値観を持った人同士が交流できるようなイベントを開催できればと考えております。交流の先に、最終的にはマッチングにつながるようなイベントになればと考えております。

こちらの事業は、こども政策課でこういったマッチングイベントに関する補助金制度があるそうで、直接マッチングにつながる事業であれば、２００，０００円、少しゆるめの事業であれば、１００，０００円補助というようなものでした。

実行委員会組織の立ち上げる必要で、委員の皆さんの中で、興味がある方はぜひ協力して

いただければと思います。
　このような形で、来年度の事業計画のただき台を考えさせていただきましたが、これ以外にも、前回のワークショップのように何かアイデアを出していただければできる限り反映させていければと考えておりますので、ご意見をいただければと思います。説明は以上になります。

〇会長
　はい、ありがとうございます。ただ今の説明にご質問のある方は挙手の上、ご発言をお願いいたします。前回のワークショップでの意見も大分繁栄されているようですので、具体的な内容についても、ご意見がありましたら是非発言お願いいたします。

〇今野龍悦委員
　神岡・南外のプランも大変よいアイデアではないかと思います。
　先日、大仙市の文化財審議会に参加してきました。その時に、会長から「南外では国指定の文化財がありますよね」という質問がありました。
　しかし、全く知らなかったため、活性化推進室に確認しました。南外の仕事着は、秋田県では唯一の国の有形民俗文化財になるようです。文化庁から認定されたあと、何かしたのか、当時の館長に尋ねました。何もしていないという回答でした。
　しかし、その仕事着を活用して今年の大曲の花火の時に、モデルさんが着用して写真を撮って、インスタにアップされておりました。そのような貴重な文化財があるなら、このようなツアーの時に、皆さんに着ていただくような企画、また、楢岡城址の上から雄物川を背景に、その時に北日本花火さんにでも花火を上げてもらって、写真を撮るような企画などどうですか。嶽山も見えて、河川敷など、本当にきれいです。そのような花火もツアーに組み込んでいっていけば、「神岡南外花火」ではなく、「南外神岡花火」になれるのではないかと思います。
　とにかく、唯一の文化財を活用して、FM はなびなどでも、宣伝していけたらよいのではないかと思います。老若男女で、活用できるのではないかと思います。

〇会長
　はい。ありがとうございます。今の意見について、事務局からありますか。

〇地域活性化推進室副主幹
　花火についてですが、物産協会さんに相談したときに、花火となると、日程が限られてしまったりと、ツアーにする時に日程調整などが難しいかもしれない、というような話もありましたので、今後そういったことも含めて内容を詰めていきたいと考えています。
　また、物産協会側としては、今、花火以外の観光資源・地域資源にスポット与えるような取り組みをしているそうで、里山などを考えた時は、楢岡城址などはよいスポットにはなるのかと思います。

また、仕事着に関しては、今回は花火大会の時に、地域おこし協力隊の明石さんが借りて写真を撮っていたようですが、好きな人からはすごく興味を持ってもらえます。

今年の２月の「きょてんまつり」で、元地域おこし協力隊の方に講師をお願いして、「刺し子」のワークショップを行いました。

仕事着には、刺し子が使われているものもあります。ワークショップに参加した方は、２時間ぐらいでしたが、集中して黙々と作業されていて、とてもよい体験ができたのではないかと思っています。大きなイベントでは難しいとは思いますが、仕事着・野良着が好きな人が集まるような企画は、考えていく必要があると思います。

〇会長

今の説明でよろしいですか。

〇今野龍悦委員

今お話ししたのは、写真でいえば強首ホテルのことがあり、規模は違いますけど、インスタ映えする撮り方をすると、好きな人は興味深く観てくれるのではないかと思いました。

〇会長

このように、いろいろな意見を出してもらえると次の事業に役立てていけるのではないかと思います。民俗資料館で、以前に利き酒で依頼を受けていったことがありました。利き酒といえば、いろいろな場所で出ており、ただの酒では面白さがないな、ということで、最近は日本酒のブレンドがでてきています。例えば、３つくらいをブレンドしてみると、さまざまな味に変化して、また違った味わいになります。プロの人たちに、ブレンドしてもらい利き酒ができる企画など、人と違ったことを企画すると目を引く。というようなことになるのではないかと、今思ったところです。他にありますか。

〇加賀屋由香委員

先ほどの野良着についてですが、活用の仕方というか、どのような形で使わせてもらえるのか、規定などがあれば教えていただきたいです。

〇地域活性化推進室副主幹

文化財で登録されているものが３４１点あります。以前に、仙北地域の旧池田氏庭園で、登録されて間もないころだったと思いますが、観光ツアーで仙北中学校の生徒に着用してもらい、観光案内をしてもらったということがありました。他に、南外中学校でファッションショーをやってみたこともありました。そういった事業では、登録外の仕事着を貸し出して対応しています。企画内容をお聞きして、検討させていただくようなかたちになるかと思います。仕事着は、男性用、女性用ともに収蔵されていますが、昔の人と比べると、現代の人は体格が丈夫になっていますのでサイズがなかなか合わないというようなこともあるかと思います。

〇会長

はい。ありがとうございました。他にご意見はありませんか？

〇佐藤武委員

小・中学生が企画する事業の中で、大仙市で、大学生とコラボしてお酒を造る事業があったと思いますが、それと同じような感じで、国際教養大学の学生と一緒に企画や立案のところをコラボしてやってもらうこともいいのかと思います。

国際教養大学の学生さんは、いろいろな企業で欲しがっている人材が多くて、実際、仙北市と国際教養大学のコラボ事業がかなり多くなってきていて、地域課題の解決にも協力し合ってやっています。

その中で、起業している人もいます。実際に移住している学生さんも出ています。何かコラボできないかと思います。協力隊になっている人もいたり、ミュージシャンもいたり、コミュニティができていて、それ以外にもその仲間たちが定住して来たり、３０人位のそういった方たちのグループがあります。そこをきっかけに動いていけないかと思います。

〇会長

はい。ありがとうございます。事務局の方で、何かお答えありますか？

〇支所長

とても、よいアイデアで、実際に声をかけるのが可能であれば聞いてみるだけでもやってみたいと思います。

〇会長

実現できるように、一歩踏み出していって欲しいです。他にありませんか。

【質疑なし】

無いようですので、議題の３番については、今後実際に取り組むときにも話し合いができればと思います。次に、議題の４番のその他に入ります。事務局の説明をお願いいたします。

〇地域活性化推進室副主幹

はい。皆様にお配りしております資料４になります。

「南外さいかい市の視察」という新聞記事を抜粋した資料をご覧ください。新聞等でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、９月７日に林芳正大臣（当時）が南外さいかい市を視察されました。移動販売車などは、総務省の助成金を活用していることもあったため、そういったことも説明させていただいています。また、能條隊員も協力隊としての活動内容を直接お伝えしています。大臣の方からは課題解決に取り組んでいるということで評価をい

ただいきました。詳細については、後ほどご覧になっていただければと思います。

続いて、令和６年度から西部地域で行われている西部合同研修会についてです。令和６年度が協和地域、令和７年度が南外地域、そして令和８年度は神岡地域が担当となっております。日程については、１１月２４日火曜日を予定しているということでした。今回も懇親会を予定しているということで、会場は嶽の湯で開催予定とのことで、詳しい内容については開催日が近くなってから皆さんの方にお伝えすることになると思います。

この懇親会についてですが、年度始めに取らせていただいたアンケートで、懇親会について、是非参加したいという回答をいただいておりましたが、なかなか日程等が調整できず実現できておりませんでした。西部地域での懇親会にはなりますが、南外地域だけではなく、西部地域全体の交流の場ともなる良い機会となると思いますので是非参加していただきたいと思います。最後に、今後の地域協議会の日程になりますが、南外地域については、例年奇数月の開催となっており、年６回を予定しておりました。予定ですと、残りは 11 月、１月、３月ということになりますが、市の予算編成が例年早まっておりまして、来月あたりから動き出す予定です。今日いただいた意見を参考に予算編成に臨みたいと考えておりますので、次回の協議会は、冬季はイベントも落ち着いてくることと、１１月は西部研修も予定されておりますので、１１月の協議会開催は見送り、年明けの１月か２月頃に開催したいと考えております。突発的ななど事案があれば、予定を変更する可能性もありますが、１１月に関しては開催を見送る予定です。事務局の方からは以上です。

〇支所長

先ほどの国際教養大学の件ですが、どのようにして関わっていけばよいのか、具体的な案などありましたら教えていただきたいです。

〇佐藤武委員

地域の課題の洗い出しなどを一緒に最初から進めていくような感じで、小学生がよいのか中学生がよいのか、一緒に課題を解決していくためのプロセスを大学生から学びつつ、一緒に力を借りながらやっていく。こちらから何かをやっていくというような準備よりも、今の現状を見てもらって一緒に考えて、もっと地域がよくなっていくようなやりかたを探っていけばよいのではないかと思います。

〇支所長

ありがとうございます。実際に声をかけるときにどのようなかけかたをすればよいのか、教えていただきたいと思いまして。

〇会長

はい、事務局からその他についての説明がありました。皆さんからのその他の部分で何かありましたらご発言をお願いします。

【質疑なし】

無いようですので、本日の会議はこれで終わりにしたいと思います。次回の会議は来年の１月頃ということで、事務局から案内があると思います。次回の会議までは期間が空いてしまいますが、先ほど事務局からのお知らせにもありましたが、１１月の西部研修会と懇親会もありますので、是非たくさんの方に参加していただければと思います。これをもちまして第３回南外地域協議会を閉じたいと思います。お疲れ様でした。

（１９時００分　閉会）

南外地域協議会運営規程第７条第２項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊　藤　賢　良

佐々木　　明